

# 伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.49号> 2015年 3月 1日 発行

## ごあいさつ

桜の便りに ちらし寿司や蛤の吸い物…  
いよいよ、清新な季節の到来です。

3月11日、東北では忘れ得ぬ記憶と  
ともに4年の時が流れ、様々な問題を  
抱えながらも、5度目の春を迎えます。

原発事故による避難者は未だ12万人  
近くにのぼり、懐かしい故郷の春を想う  
人々の願いは切実でしょう。

帰還か移住か?の判断だけでなく、望まずも  
長期避難となってしまう方々には、せめて生活  
改善策の充実を祈るばかりです。

さて、中部では名古屋商工会議所が今年から  
三年間の活動方針となる中期計画をまとめ、モノ  
づくり力・都市力・企業力による、世界都市実現  
に取り組もうとしています。またトヨタ自動車も  
JA愛知と連携し、トヨタ流の改善で生産コスト  
削減を図り農家所得向上に繋げる、稲作生産管理  
システム・“豊作計画”を発表しました。

農工合体のユニークなプランが、日本の農業に  
活気を与え競争力アップを生むことを期待します。

各地で行なわれる卒業式の主人公となる、次世  
代を担う人達に、必ず夢と希望の持てる未来都市  
を築くため、今後とも尽力して参ります。



刈谷市議会議員

### 【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地  
(トヨタ車体労働組合内)

Tel. 0566-36-3870

Fax. 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp



## 歳時記

3月 3日 (火) 桃の節句	甘雨に勢いを増す若芽もあろうかと
6日 (金) 啓蟄	思えば、冴え返る日も…春のあゆみは
8日 (日) 国際女性デー	気紛れです。
14日 (土) ホワイトデー	異動や引越しなどで、環境が変わる
18日 (水) 彼岸の入り	ことが多いシーズンでもあります。
21日 (土) 春分の日	心身の健康に留意し、新たな目標に
24日 (火) 彼岸明け	向かって歩き始めましょう。

# 伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



## 刈谷 良いトコ ♪



大ぶりのしだれ桜を仰ぐ、満開の菜の花。  
静かな郷の一隅の、門口をそっとのぞき込む  
ように、今年も春が訪ねて来ました。  
さて、ここはどこでしょう？



2/1発行の<No.48>の答えは、日高町の日高公園  
東側の、池の周りに林立する枝垂梅でした。  
その数五百数十本、辺りには仄かな甘い香りが漂い  
早春を実感できます。

## “アルゼンチンタンゴ”への招待☆ (Chapter1)

地球儀では日本の真裏のブラジル、2月には真夏の祭典・リオのカーニバルが  
今年も盛大に行われました。

その隣国・アルゼンチンで生まれた魅惑の踊り、アルゼンチンタンゴ。  
歴史はまだ百数十年程、首都ブエノスアイレスはラプラタ川の流域辺りボカとい  
う港町から。19世紀、スペインやイタリア等ラテン系の移民によって造られた  
歴史の浅い国で、唯一の独自の文化として発展しました。

六百万人とも言われる移住者は、成功を夢見てボカに辿り着きましたが叶え  
た者は僅か一握り、酒場は夢破れた男とそれを慰める女性が、執拗にからだを寄せ  
合って踊るスタイルとなり、いつか禁断の踊りとしてローマ法王からタンゴ禁止  
令が出されたほどです。

その後、“黙示録の四騎士”の映画で紹介されたタンゴ、映画ファンのみならず  
国民の多くが、からだを寄せ合う このダンスに魅了にされました。

いよいよタンゴは海を渡りヨーロッパへ、大ブームを起こします☆

## 3月の行事予定

3月 3日 (火) ~13日 (金)	3月定例議会 本会議・各種常任委員会・予算審査分科会
5日 (木)	中学校卒業式
8日 (日)	消防団観閲式
18日 (水)	刈谷知立環境組合定例議会
19日 (木)	幼稚園修了式
20日 (金)	小学校卒業式・国際交流協会幹事会
23日 (月)	3月定例議会 予算審査特別委員会・24日 (火) 本会議
25日 (水)	監査定例会

“まじめに  
コツコツ、即行動”  
頑張ります!!



# 2月のフットワーク

## 3月定例議会 市長・教育長の平成27年度方針説明（2月19日）

### 1) "平成27年度 市長施政方針"について・・・(市長より説明)

**【市長 所信の一部】** 企業の業績回復を背景に、積極的なまちづくりに取り組む環境が整いつつあるが、インフラの長寿化対策や長寿社会の到来で、社会保障費の増加などが予想されており、今後も実施事業の取捨選択による効率的な行政運営および健全な財政に努め、引き続き第7次総合計画における5つのまちづくり基本方針に沿って、市民サービスの更なる向上に努めていく。

#### (1)「都市と自然が織りなす 住みよいまちづくり」

市街地拡大の検討、銀座A・B地区の施設整備、刈谷駅周辺の賑わい創出関連事業、逢妻駅の整備、亀城公園歴史的建造物の設計、総合運動公園駐車場整備等の実施。

#### (2)「生きる力を育み 喜びを実感できるまちづくり」

特別支援学校整備に伴う小垣江東小学校の改修および第一給食センター移転設計、日高小学校・富士松中学校の改修工事、全学校に電子黒板導入、歴史博物館の実施設計等の実施。

#### (3)「人と技術で賑わいを創り 笑顔で動き続けられるまちづくり」

新規就農者への新たな支援、市内企業の流出防止や市外企業の誘致を図る投資補助拡充、西三河市町との観光連携の強化、ものづくり刈谷のアピール強化事業等の実施。

#### (4)「支えあい みんなが元気で安心して暮らせるまちづくり」

肺がん検診・歯科検診・高齢者肺炎球菌予防接種の助成対象者拡大、成年後見制度に関する窓口設置、子育て支援のコンシェルジュ配置、新規民間保育所への支援、さくら保育園移転工事・富士松北保育園移転設計、認可外保育所利用料補助の拡充、防災倉庫の増強、緊急輸送道路の橋の耐震化・電線地中化、街頭防犯カメラの全地区設置等の実施。

#### (5)「市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり」

「まち・ひと・しごと」総合戦略策定、マイナンバー制度対応への環境整備等の実施

### 2) "平成27年度教育長教育行政方針について"・・・(教育長より説明)

**【教育長 所信の一部】** 学校教育では、これまでの3つの教育方針に加え、新年度からは「自己肯定感」や「自己有用感」の醸成も重点に加え取り組む。生涯学習については、若者達が希望を持ち、高齢者が元気で充実した人生を送ることができるよう生涯学習推進計画や文化振興基本計画およびスポーツマスタープランに基づき推進。

#### (1)「学校教育の充実」・・・「知」「体」「徳」の3本柱で推進

- ① 少人数授業の推進、指導方法・体制の工夫・改善、有効な家庭学習の在り方の啓発。
- ② 「体づくり運動」を重視した教育の推進。「食育」を推進した体づくり。
- ③ 東北被災地への派遣、読書タイムの充実等を通じた「豊かな心の育成」の推進。

#### (2)「生きがいを持つ生涯学習都市づくり」

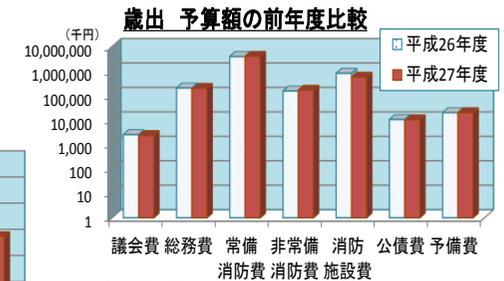
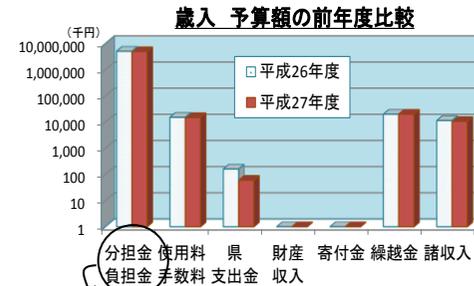
- ① 学習や活動の成果を地域社会で活用できる仕組みづくりなど生涯学習の推進。
- ② 放課後子ども教室の充実など家庭や地域と連携し青少年の健全育成のための事業推進。
- ③ 歴史文化の発信事業の強化や芸術関連企画の充実など文化芸術の普及と振興を図る。
- ④ トップリーグ試合誘致や施設利用の満足度向上など、スポーツの普及・振興に努める。

## 衣浦東部（消防）広域連合議会 平成27年第1回定例会報告

平成27年2月10日（火）午後1時30分より 刈谷市役所（9階）議会会議室

### 【平成27年度 一般会計 予算総額】

平成26年度	平成27年度	前年度比
5,162,000	4,995,000	▲3.2%



<主要事業>  
 高規格救急車(4台)・救助工作車(1台)  
 水槽付消防ポンプ(1台)の更新。  
 施設用AEDの設置(12か所)・車両ドライブレコーダーの購入(未設置車両65台に装着)

各市の分担金	安城市	刈谷市	碧南市	知立市	高浜市	合計
負担割合	32.8%	26.6%	18.4%	13.1%	9.1%	100%
分担金(千円)	1,623,847	1,314,762	912,768	647,334	450,672	4,949,383

## 市民クラブ会派による行政視察報告（2月5日～6日）

### ■ 福山市『100万本のばらのまちづくり』について

**【目的】** 福山市は「ばらのまち福山」を目指し、市民と行政が協働でバラ植栽活動を展開しており、今後の刈谷市のまちづくり推進事業に活かすことができればを目的に視察した。

**【概要】** ばらの花を市のシンボルとし、市民にばらの苗と育て方のパンフを配り、各家庭や駅前通り、幹線道路、公園、公共施設、学校等に植えてもらう、また、入学・新築・誕生記念にも苗をプレゼントし、まちをばらいっぱいにするという活動。その他、ばら祭り・各種イベントを実施。

**【所感】** 人口減少を背景に都市間競争が激化する中、福山市は、ばらをブランド化し、まちの魅力づくりを行って人の賑い創生を図ろうとしていた。刈谷市もブランド戦略に本腰を入れるべき。

### ■ 三原市『地域包括ケアシステムの構築』について

**【目的】** 刈谷市も今後地域包括ケアシステム構築に取り組むが、三原市は既にその取り組みにおいて地域が担う仕組みづくりを始めており、刈谷市のシステム構築に活かすことを目的に視察した。

**【概要】** 「地域支え合い活動の立上げ支援事業」として、県から補助を受け、江木地区をモデル地区として「地域で日常生活サポートネットワークづくり会議」を立ち上げ、お茶の間サロンの常設、ふれあい貯筋教室、高齢者見守り活動等を行っていた。

**【所感】** 高齢者の見守りは地域の活動支援が不可欠、刈谷市も早くモデル地区をつくり、元気に生活してもらう環境づくりと見守りの仕組みについて地域と議論を進めるべきと感じた。

